



よみとき 天声人語 277 出題編 指導 前田奈津子 (朝日小学生新聞記者)

読もう 声に出して読んでみよう。書き写すと、もっと理解できるよ。分からない言葉は辞書を引こう。

今回の「天声人語」は、アカムツ、ノドグロなどと呼ばれる魚を研究している人の話です。みなさんは、どんな魚に興味がありますか。

天声人語

ダンジュウロウ、キンギョ、メキン、アカウオ……。ある魚の異名である。何の魚が見当のつく方はよほどの通達者。アカムツ。またの名をノドグロという。冬の魚という印象があるものの、北陸あたりでは「晩夏から初秋が最もおいしい」と聞く。希少で高値のつくことでも知られるこの魚、テニスの錦織圭選手の発言で知名度が高まった。4年前、全米オープンで準優勝し、帰国直後に「ノドグロが食べたい」▼日本海側で水揚げが多い。富山県は県水産研究所(滑川市)で、7年前から飼育や放流の実験を進めてきた。漁業界から「富山湾で水揚げを増やしたい」と要請されたのがきっかけ。養殖ではなく増殖が目的だ▼担当の福西悠一主任研究員(36)によると、繊細で育てにくい魚である。長く手で持てば、人の体温に負けてぐったりする。「停電で飼育室が真っ暗になるとパニックを起こし、水槽の壁に衝突してしまします」▼エサや水温の管理に試行錯誤を重ね、飼育数を増やし、これまでに計9万匹を放流した。たくましく育った1匹が漁網にかかった時には、研究の手応えを感じたと話す▼富山県内ではギョウシンという異名もある。漢字で「魚神」。絶品の魚として神のごとく珍重されてきたのだらう。ノドグロの名はどの黒さゆえではあるが、輝くような全身の赤さ、舌でとろける身の白さを思うと、やや残念な名ではないか。君の名をのどぐろと知りし日ははるか無念いつばいのに溜まりぬ。小島ゆかり

2018・8・30

※天声人語の内容は朝日新聞掲載時のものです。



前田奈津子記者

文中①②③の説明

- ①スズキ目の海水魚。一般的に全長約40センチになります。口内が黒い色のためノドグロと呼ばれることも多いです
- ②プロテニス選手。1989年生まれ。島根県出身。今年全米オープンではベスト4に入りました
- ③本州の中央北部に位置します。面積は、4247.61平方キロメートル。県庁所在地は富山市です

ニュースと事実 問題の投げかけ 書いた人の感想や意見

【異名】本名、本来の名前以外の名前(見当)はつきりしてないことについて大体の予想をする(晩夏)夏の終わりが「希少」少なくともめずらしい「試行錯誤」まずやってみて、まじがいを見つけては直し、進みながらよくしていくやり方【絶品】この上なくすぐれた品物・作品など【珍重】めずらしいものとして大切に

宿題



おたより送ってね!

- Q1 あなたの好きな魚は何ですか?
 - Q2 魚がすむ海や川の環境を守るためにはどんなことが必要だと思いますか?
 - Q3 天声人語に10字程度の見出しをつけましょう
- Q1とQ2は、その理由も教えてね。答えるのはどれ一つでもOKです。
- 【送り先】名前と学校名(ふりがな)、学年、電話番号、住所を書いて、あて名・件名は「よみとき天声人語」係。Eメール(asasho@asagaku.co.jp)、郵便(〒104・8433 朝日小学生新聞)、ファクス(03・3545・0727)で。18日必着。

ポイント



アカムツ。またの名をノドグロという魚。希少で高値のつくことでも知られている。



テニスの錦織圭選手が4年前、全米オープンの準優勝後に「ノドグロ食べたい」と発言。知名度が高まった。

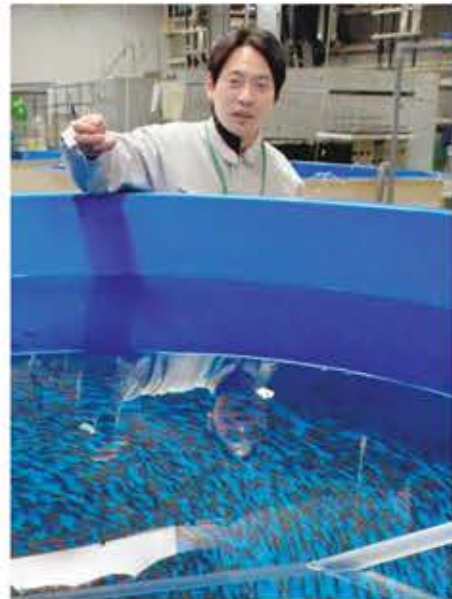


日本海で水揚げが多い。富山県は県水産研究所で7年前から飼育や放流の実験を進めてきた。



繊細で育てにくい魚。エサや水温の管理に気をつける。たくましく育った時は、研究の手応えを感じる。

魚、食べてますか? 産地や河川の環境知ろう



水槽で泳ぐノドグロの稚魚にエサを与える研究員=3月

みなさんは、魚をよく食べますか。さし身、煮魚、焼き魚など、いろいろな食べ方があります。たんぱく質など大切な栄養がふくまれているので、食事のメニューにうまく取り入れたいですね。近年、日本では魚を食べる量が減ったといわれています。水産白書(2017年度)によると、食用の魚介類の1人当たりの消費量は2001年の40・2キロをピークに減っていて、16年度には24・6キロとなっています。1人当たりのたんぱく質をとる量も減っている傾向にあります。高齢化が進み、ダイエットをする傾向があることが影響していると考えられます。今回の「天声人語」に登



ノドグロの稚魚=2017年 どちらも朝日新聞社

場しているのは、ノドグロという魚の研究です。どんな魚なのでしょう。生態をインターネットや図鑑で調べてみるのもいいかもしれません。店に行ったら、売られている魚の産地を見ましよう。その地域の漁業について調べるのもいいでしょう。海や川の水がよごれているなど、環境が悪化していると魚の成長にも影響します。魚をとりすぎないようにしながら、漁業も元気になる方法を、私たちも考えたいですね。

イラスト・ふじわらのりこ